

山鼻未来・ネットワーク協議会 NEWS

この紙面は、山鼻未来・ネットワーク協議会やその構成団体が主に令和4年度上期に実施した行事の様子について、皆様にお知らせするものです。
(協議会構成団体を最後のページで紹介しています)

令和4年10月1日

●発行●
山鼻未来・ネットワーク協議会
(事務局：山鼻まちづくりセンター)
☎ 511-6371

札幌まつり・^{だし}山車巡行（6月15日(水)・16日(木)）〔第三山鼻祭典区〕

北海道神宮例大祭(札幌まつり)が3年ぶりに開催され、6月15日には、山鼻地区の各町内を山車行列が巡行しました。沿道では、山車行列や、あらかじめ設定された各所で停車して披露される華麗な囃子(はやし)と踊りを楽しみに待つ家族連れやお年寄りなどの姿が見られました。

翌16日は、あいにくの天候となりましたが、他の地区もあわせた山車が市内中心部を練り歩き、沿道では、多くの市民が久々の各地区の山車行列の姿を見守っていました。

▼【左・真ん中】6月15日山鼻地区での巡行の様子。【右】6月16日市内中心部での様子。



藻岩山自然観察登山（6月19日(日)）〔山鼻地区青少年育成委員会〕

初夏の藻岩山で、小鳥のさえずりや、草花・樹木の観察を楽しみながら登山をする自然観察登山が3年ぶりに行われました。

小学校低学年から80歳を超える高齢者まで、スタッフを含めた計約25名が、登山前に配布された藻岩山の植物についての小冊子も参考に、藻岩山の自然の豊かさをあらためて感じながら、1時間から1時間半かけて、ゆっくり山頂を目指しました。

当日は小雨ではありましたが、山頂は涼しく爽やかな天候の中で登山ができました。



▲ 6月19日登山の様子

山鼻地区モルック講習体験会（6月25日(土)）〔山鼻スポーツ振興会〕



▲ 6月25日体験会の様子

山鼻会館横の中央区ゲートボール場を会場に、山鼻地区初めてのモルック講習体験会が開催されました。モルックとは、地面に立て並べられた複数の木のピンをめがけて、木の棒を投げて獲得した点数を競う、年齢に関係なく、また、初めての方でも楽しめるスポーツです。

当日は、小学校低学年から高齢者まで約30名の参加がありました。

ほとんどの方がモルック初体験でしたが、北海道大学のボランティアで来てくれた皆さんからルールやコツを丁寧に教えてもらい、競技を楽しむことができました。

▼モルックの木のピン



山鼻地区夏の交通安全街頭啓発（7月2日(土)）

〔町内会連合会、交通安全実践会、交通安全指導員会、交通安全母の会〕

今年度は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、山鼻地区の最大イベントである「交通安全・防火・防犯・清掃の集い」を中止し、交通安全街頭啓発のみを夏の交通安全総ぐるみ運動に先駆けて、7月2日午前10時から実施しました。

山鼻地区では、約2年10か月ぶりの開催となりましたが、関係機関含めて143名の方に参加いただき、南23～24条の石山通で、「シートベルト着用」や「スピードダウン」などの旗やたすきを用いて、約30分間の街頭啓発を行いました。



▲ 7月2日石山通での街頭啓発の様子

山鼻地区避難所運営研修（7月29日(金)・8月2日(火)）〔山鼻町内会連合会〕

▼ 8月2日山鼻小学校での研修の様子



指定避難所（基幹）となる山鼻中学校（7月29日）と山鼻小学校（8月2日）で、札幌市危機管理対策室が主催する避難所運営研修が開催されました。

山鼻地区からは、山鼻中学校には約20名、山鼻小学校には約10名が近隣の町内会から参加し（山鼻小は曙地区からも参加）、新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた避難所開設の初動対応を学びました。また、山鼻小学校では、避難所運営ゲーム（HUG）により、災害発生直後の避難所（学校）の運営を体験しました。

山鼻ふれあい子育てサロン（原則、毎月第3木曜日）

〔山鼻地区社会福祉協議会、山鼻地区民生委員・児童委員協議会〕

今年度の山鼻地区福祉のまち推進センターの子育てサロンは、山鼻会館のみで月1回開催しています。

新型コロナウイルス感染症対策として、会館の都合がつくときには、部屋を2つ繋げて通常よりも場所を広くとって開催しており、訪れた子ども達が元気よく動き回る姿が見られました。また、8月には、3年ぶりに屋外で水遊びを行いました。

▼ 8月3日子育てサロンの様子【左：会館内／右：屋外での水遊び】



自転車安全利用教室（8月17日(水)・24日(水)）

〔町内会連合会、交通安全実践会、交通安全指導員会、交通安全母の会、山鼻児童会館、山鼻かしわ児童会館〕

山鼻かしわ児童会館及び山鼻児童会館で、自転車の正しい乗り方を学ぶ自転車安全利用教室が3年ぶりに開かれました。この教室は、危険な自転車走行が社会問題となっていることを踏まえ、地域の児童に自転車の安全な走行を学んでもらい、交通安全の啓発を図ることを目的としています。



▲ 8月17日かしわ児童会館の様子



▲ 8月24日山鼻児童会館の様子

小学校1年・2年生を中心とした参加児童計42名（山鼻かしわ児童会館14名、山鼻児童会館28名）が、南警察署員の指導のもと、自転車シュミレーターの操作を通じて映し出された走行風景を見ながら、安全走行のポイントを確認し、自転車の乗り方を楽しく学びました。

中央区防災訓練（9月5日(月)）〔山鼻町内会連合会〕

山鼻会館横の中央区ゲートボール場で中央区防災訓練（中央区主催）が3年ぶりに行われました。感染対策を十分に行ったうえで、規模・内容を縮小し、様々な災害時に汎用的に対応できる災害対応物品等の動作確認、展示が行われました（災害用発電機動作訓練、応急救護所設置訓練、応急給水訓練等）。山鼻町内会連合会からも3名が出席しました。



▲ 9月5日訓練の様子

山鼻未来講座－ヤマハナを知る－（令和4年3月26日(土)）〔山鼻未来・ネットワーク協議会〕

札幌そして山鼻のことを一緒に学ぶ「山鼻未来講座」を3月26日に中央図書館3階講堂で開催し、約40名の参加がありました。「山鼻の地形と地史」をテーマに、札幌市博物館活動センターの古沢仁学芸員から約1時間の講話をしていただき、札幌の地形の成り立ちと山鼻地区の特徴を教えてもらいました。その一部をご紹介します。

山鼻地区は、豊平川が長い年月をかけて藻岩山側から東側に移っていくことによってできた3つのタイプの扇状地、1つ目は1万年から4,000年前まで形成された扇状地、2つ目は4,000年前から2,000年前に形成された扇状地、そして3つ目は2,000年前以降に形成された扇状地、それぞれが重なっているそうです。

山鼻地区の中では電車通りなども含めてごく身近なところで、道路にある『へこみ』から豊平川の古い流れの跡を今も幾つも確認することができるそうで、講師自ら歩いて撮った『へこみ』の写真を落とし込んだ地図が配布されました。



▲ 3月26日古沢学芸員による講話の様子

山鼻未来・ネットワーク協議会 構成団体 (23団体)

- | | |
|------------------|---------------|
| 山鼻町内会連合会 | 山鼻地区統計調査員協議会 |
| 山鼻地区民生委員・児童委員協議会 | 山鼻青年会 |
| 山鼻地区社会福祉協議会 | 札幌市立山鼻小学校PTA |
| 山鼻スポーツ振興会 | 札幌市立幌南小学校PTA |
| 札幌市赤十字奉仕団山鼻分団 | 札幌市立伏見小学校PTA |
| 山鼻地区青少年育成委員会 | 札幌市立山鼻南小学校PTA |
| 山鼻地区交通安全指導員会 | 札幌市立柏中学校PTA |
| 山鼻地区交通安全母の会 | 札幌市立山鼻中学校PTA |
| 山鼻地区交通安全実践会 | 山鼻かしわ児童会館 |
| 札幌中央消防団山鼻分団 | 山鼻児童会館 |
| 山鼻地区地域安全活動推進委員会 | 札幌友の会山鼻方面 |
| 第三山鼻祭典区 | |

山鼻未来・ネットワーク協議会は、山鼻地区において関係機関諸団体と連携を図り、問題の解決や目標の実現に向けて相互に理解し合い、協力をして、これからの山鼻地区のあるべき姿（地域性）の方向性を創り上げ、住みよいまちづくりにかかわる諸施策を推進することを目的とした団体です。